

山口和之さんの
いきいき
Interview vol.16
企業探訪



日本はもっと
強くなれる
優しくなれる

山口 和之

(やまぐち・かずゆき)

元衆議院議員・元参議院議員・南東北グループGM・理学療法士・介護支援専門員。30数年前、福島県立医科大学病院から南東北脳神経外科病院(現在の当院)のリハビリテーション部門立ち上げに招聘される。以後、予防・治療・リハビリテーション・地域ケアにおいて当院の発展に尽力。議員時代に東日本大震災対応をはじめ、世界に誇れる自立支援介護の推進、循環器病対策基本法の立法など医療介護福祉の政策に貢献する。

山口 日本は朝の食卓に欠か

せない納豆は栄養価が高く、体調管理や病気予防にも効果的です。今回は「スーパーフード・納豆」を製造するミドリヤさんにお邪魔しました。まずは事業内容について村上利勝社長にお聞きします。

村上 私どもは納豆の製造と卸売業を生業にしています。1953年、初代村上吉憲が現在の郡山市中町に会社を設立しました。当時は夏場にバナナ問屋、秋から春にかけ

ては納豆を製造してしま

た。1970年代になって納豆製造に専念し、郡山市を中心に地元スーパーや小売店、直売所での販売と、学校や病院、ホテル、旅館向けなどの業務用にも力を入れています。特に業務用では多品種小ロット生産を行っており、お客様

のニーズに合わせた製品づくりをモットーにしています。山口 福島県の皆さんは納豆が大好きですね。村上 世帯当たりの納豆の消



代表取締役社長
むらかみ としかつ
村上 利勝氏

(有)ミドリヤ

郡山市富久山町久保田字古町21-1
TEL.024-944-4151
http://minorinatto.com/



ミドリヤが製造する豊富な商品ラインアップ

多品種小ロット生産で、顧客ニーズに合わせた製品づくり
幻の大豆や新品種などで『地産地消』の復活を目指す

費額は4年連続で福島県が1位になるなど全国トップクラスです。納豆には様々な栄養素が含まれ、特にタンパク質や食物繊維、ビタミンなどが豊富です。生活習慣病や骨粗しょう症など病気の予防にも効果があり、県民の健康増進に役立てれば嬉しいですね。山口 看板商品やおすすりめ商品を教えてください。村上 登録商標である『みのり納豆』は発売以来50年を越えました。タレもカラシも付いていませんが、根強い人気を誇っています。全国納豆鑑評会で5度の入賞を果たした『ほのか』、子供たちや保護者の強い要望を受け、学校給食向けの納豆を商品化した『おかわり』も人気です。山口 食品を扱う上で、特に注意していることは。村上 美味しい納豆をつくるためには納豆菌の繁殖を妨げる雑菌対策が重要です。全て



村上社長と後継者の末奈さん、山口さん

の食品製造に当てはまることですが、衛生管理(洗浄・清掃・手洗い等の正しい指導・従業員の健康管理)と温度管理(製造・保管)には特に気を付けています。従業員の意識が大事なので年一回の健康診断と、衛生管理や異物・ウイルス対策等についての講習会を定期的に行っています。山口 人材確保や社員教育、働き方改革について。村上 総勢7名の小さな会社で、社員の皆さんに長く勤

めていただいているので、人材確保に苦慮する事態には至っていません。製造現場は女性のみで、みんなバリバリ働いてくれています。蒸気のせいで夏場は暑いので7、8月は有休消化も兼ねて、工場休業日を増やすなどして疲れない働き方を目指しています。主婦の方がほとんどで、基本的に残業は「ゼロ」です。山口 今後の夢やビジョンを聞かせてください。村上 いちばんの夢は『地産地消』です。東日本大震災以前は実現していたのですが、震災後は東京電力福島第一原発の事故の影響で途切れてしまいました。いつの日か復活できるように少しずつ進めていくところです。幻の大豆や新品種などを使った納豆づくりに挑戦したいと思います。脱プラスチックを模索中で、環境にも優しい納豆をつくりたい。購買意欲を掻き立てるECサイトの構築にも注力したいと考えています。山口 納豆は美味しいだけでなく、糖尿病や心血管疾患、脳卒中などのリスクを下げると言われてます。安価な納豆で病気が予防できるとなれば莫大な医療費の抑制につながるかもしれません。まさに『納豆、万歳!』ですね。